

とうきょうすくわくプログラム活動報告書【2025年度】

施設名	ミアヘルサ保育園ゆらりん荻窪
法人名	ミアヘルサ株式会社
法人所在地	東京都新宿区市谷仲之町 3-19

1. 活動のテーマ

<テーマ>

畑

<テーマの設定理由>

ゆらりん荻窪では、例年区民農園を借りて野菜の栽培を行っている。
また、今年度は初めて園内でいちごの栽培に挑戦する。野菜の世話や収穫体験を通じて、親しみを持ったり、興味が深まったりすることを期待して設定した。

2. 活動スケジュール

主に5歳児クラス（めろん組）が散歩の時間（9:40～11:30 ごろ）を利用して区民農園に行く。
月に1～2回程度区民農園に行き、生長の観察や水やり、収穫を行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

土、苗、種、肥料等を購入した。カメラを持参し、収穫の様子など撮影した。
子どもたちと写真を見て振り返ったり、「つぎにいったらもうできてるかな？」などの会話を楽しんだ。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・栽培について、野菜の種類や育ちなどを事前に学ぶ。
- ・実際に畑に行き、苗や種をまいて水やりを行う。
- ・生長の過程を学ぶ。
- ・収穫をして、新鮮な状態の野菜を知る。
- ・収穫した野菜を使って調理を行う。
- ・収穫した野菜やその日の畑の様子を写真で記録する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

初めは虫を怖がったり、土で手が汚れることを気にしている児がいた。しかし、他児が土いじりを楽しんでいる様子を見て、土など気にすることなく野菜のお世話を楽しむようになった。「これは大きいね」「大根に足が生えてるみたいだね」「おばけきゅうりがいるよ」など、お店では見ないような野菜の姿を楽しんでいた。そんな姿の野菜は美味しくなさそうという児もいた。「みんなだってみんな同じ顔じゃないでしょ。野菜も少し形が違ってても味は美味しいよ」と保育者が伝え、実際に持ち帰って調理し、美味しく食べることができた。

大根は1人1本持ち帰った。抱えるような大きな大根を、嬉しそうに持ち帰っていた。

写真

じゃがいもほり



トウモロコシの収穫



トウモロコシの皮むき



だいこんの収穫





5. 振り返り

昨年度、年中クラスで大根を収穫した時から、年長になり畑にかかわることを楽しみにしていた。実際に畑で植え付けなどを行うと、手や服が汚れたり、虫がいたり、大変な作業だという事を実感した様子だった。暑い日寒い日も、時間を見つけて様子を見に行き、収穫できた時は愛着も抱いており、達成感と喜びにあふれていた。どんな花が咲くのか、土の中ではどうなっているのか等、絵本を見て調べる姿も度々見られた。

自宅に持ち帰り、何を作ってもらったのか、お手伝いをしたか等、職員との会話も弾んだ。家庭でも、種を植えた話や収穫した野菜でカレーを作って食べた話など、親子の会話が弾んだ様子。また、苦手だった野菜だが、頑張っって好きになってみようという姿も見られた。